

平成 28 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち												
施策No.	11	施策名	災害に強いまちの形成												
主管課名	建設課														
関係課名	農林水産課、都市計画課、水道課、下水道課、財政課、総務課														
施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> ・風水害による被害を未然に防止するための河川、排水路や土砂災害防止施設などが整備されています。 ・地震による被害を未然に防止するための公共施設などの耐震化が進んでいます。 														
施策の成果向上 に向けての住民 と行政との役割 分担や地域等へ の期待など	市 ・ 事 業 所	<ul style="list-style-type: none"> ・施設や危険箇所などの見回りを行い、異常を発見したら連絡します。 ・建物の耐震化に努めます。 													
	行 政	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に係る計画立案、事業実施、維持管理を行います。 ・住まいの耐震化に関する相談や情報提供を行います。 													
	そ の 他 (地 域)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみで、身近な川や排水路などの除草や土砂さらいを行います。 													
市民意識 調査結果	<施策実感度調査結果>※26年度までは「満足度」 <table border="1"> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>-0.125</td> <td>-0.184</td> <td>-0.088</td> <td>0.106</td> <td>0.115</td> </tr> </table>					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	-0.125	-0.184	-0.088	0.106	0.115
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度										
-0.125	-0.184	-0.088	0.106	0.115											
<施策重要度調査結果> <table border="1"> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>0.912</td> <td>0.952</td> <td>0.863</td> <td>1.167</td> <td>1.120</td> </tr> </table>					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	0.912	0.952	0.863	1.167	1.120	
24年度	25年度	26年度	27年度	28年度											
0.912	0.952	0.863	1.167	1.120											
施策の トータルコスト	区 分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績							
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	15 (15)	15 (15)	17 (17)	16 (16)	14 (14)							
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)							
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	5 (5)	5 (5)	6 (6)	6 (6)	6 (6)							
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	5 (5)	5 (5)	6 (6)	5 (5)	3 (3)							
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—												
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	283,577	751,528	689,828	861,284	242,562							
	うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	87,488	98,167	49,059	93,186	104,629							
	うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	39,713	44,835	313,463	627,443	81,630							
	うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	156,376	608,526	327,305	140,655	56,303							
	うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—												
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	57	63	63	57	48								
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	13,120	13,640	20,900	17,740	12,940								
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	57,715	57,206	91,584	74,171	53,196								
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	341,292	808,734	781,411	935,455	295,758								
効率性 指標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	6,399	17,066	15,838	19,959	5,680							
	同上 H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	1,302	1,299	2,103	1,719	1,246							
	同上 I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	7,701	18,365	17,941	21,678	6,925							
	参考	1時間あたりの平均人件費	円	—	4,399	4,194	4,382	4,181	4,111						
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	44,315	44,036	43,555	43,152	42,706							

基本事業概要シート①

施策No.	11	施策名	災害に強いまちの形成
基本事業名①	浸水対策の強化		
基本事業①の目的(意図)	浸水被害や、高波被害などから市民の生命と財産を守るための雨水幹線、小河川(排水路)や海岸保全施設が整備されています。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【河川維持事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小河川、排水路16箇所の改修等を行うとともに、排水路や側溝に堆積した土砂等を浚渫しました。 <p>【河川関係同盟会事務局事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県に対して、二級河川 片貝川、布施川、鴨川の改修及び経田海岸の護岸改修の事業促進について要望しました。 <p>【雨水幹線築造工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうなぎ川1号雨水幹線の整備(L≒74m)、村木排水区雨水幹線整備の実施・詳細設計を実施しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
雨水幹線整備率	%	42.3	43.7	44.1	45.0 44.6	45.9	68.9	69.8	70.7
小河川・排水路改修済延長(累計)	km	6.95	7.84	8.20	7.88 8.58	7.89	7.91	7.93	7.95

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	◎ 河川維持事業	22,500,000	22,298,760	201,240	A	建設課
2	一般会計	河川管理事業	2,786,000	0	2,786,000	-	建設課
3	予算なし	河川関係同盟会事務局事務	0	0	0	-	建設課
4	予算なし	水防計画策定事業	0	0	0	-	建設課
5	下水道事業特別会計	◎ 雨水幹線築造工事	85,357,000	82,330,243	3,026,757	A	下水道課
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			110,643,000	104,629,003	6,013,997		

基本事業概要シート②

施策No.	11	施策名	災害に強いまちの形成
基本事業名②	山地崩壊対策等の強化		
基本事業②の目的(意図)	土砂災害から市民の生命と財産を守るために砂防、地すべり、急傾斜地崩壊対策施設などが整備され、安全・安心な暮らしが確保されています。		
平成28年度における主な事業内容(活動内容)	<p>【県単独治山事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虎谷、坪野、小川寺地内で治山工事を行いました。また、平成27年度の繰越しによる鹿熊地内の治山工事が完了しました。 <p>【農林業施設災害復旧事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年7月豪雨(2回)により被災した農地1箇所(鹿熊)、農道1箇所(小菅沼)の復旧工事が完了しました。また、その他の農地6箇所(升方2、鹿熊2、下樁2)、農業用水路1箇所(升方)、農道1箇所(鹿熊)については、国の災害査定を受け、復旧工事の発注手続きを進めました。 <p>【土木災害復旧事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年12月豪雨により被災した市道の復旧工事は全て完成しました。 <p>【急傾斜地崩壊対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模急傾斜地崩壊対策事業東蔵地区の対策工事は、完成しました。六郎丸地区は、実施設計が完成しました。 ・富山県に対して、砂防改良、地すべり対策及び急傾斜地崩壊対策の事業促進について要望しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
土砂災害警戒区域整備箇所数 ※平成28年度末現在:247箇所	箇所	131	136	137	141 138	143	145	148	150

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	◎ 県単独治山事業	13,372,520	13,040,125	332,395	A	農林水産課
2	一般会計	農林業施設災害応急措置作業	5,000,000	4,995,565	4,435	-	農林水産課
3	一般会計	農林業施設災害復旧事業	49,328,100	26,227,494	23,100,606	-	農林水産課
4	予算なし	◎ 県営治山事業	0	0	0	A	農林水産課
5	一般会計	土木災害復旧事業	4,228,200	4,228,200	0	-	建設課
6	一般会計	◎ 急傾斜地崩壊対策事業	33,138,720	33,138,720	0	A	建設課
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			105,067,540	81,630,104	23,437,436		

基本事業概要シート③

施策No.	11	施策名	災害に強いまちの形成
基本事業名③	耐震化の推進		
基本事業③の目的(意図)	多くの市民が利用する施設やライフラインなどが耐震化されていることにより、安全・安心な暮らしが確保されています。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【市庁舎整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内ワーキング会議を立ち上げ、新庁舎整備に向けた調査検討を行いました。 <p>【橋梁改修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋りょうの修繕工事3橋(中畑橋、湯橋、東城橋)と、修繕工事の実設計3橋(東城橋、住吉橋、宮橋)を行いました。 <p>【木造住宅耐震改修支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の木造住宅耐震改修について、1件の補助金支援を行いました。 <p>【増補改良事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加積・村木地区を中心として、老朽化水道管の耐震管への更新事業(2.28km)を実施しました。 <p>【公共下水道事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港町中継ポンプ場の耐震化工事を実施しました。また、魚津市浄化センター沈砂池棟の耐震化を含む再構築工事の実設計を行いました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
橋梁の耐震化率(橋長15m以上の市道橋49橋)	%	7.7	64.1	64.1	71.4	71.4	71.4	71.4	73.5
水道管耐震化率	%	10.4	14.3	14.8	18.0	19.0	20.0	21.0	22.0

基本事業③を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	予算なし	市庁舎整備事業	0	0	0	-	財政課
2	一般会計	◎ 橋梁改修事業	55,703,452	55,703,452	0	A	建設課
3	一般会計	◎ 木造住宅耐震改修支援事業	600,000	600,000	0	B	都市計画課
4	水道企業会計(資本的支出)	○ 増補改良事業(施策17①再掲)	(89,826,760)	(87,417,360)	(2,409,400)	B	水道課
5	下水道事業特別会計	◎ 公共下水道事業(施策18①再掲)	(513,832,000)	(474,880,079)	(38,951,921)	A	下水道課
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			56,303,452	56,303,452	0		

施策評価結果シート

施策No.	11	施策名	災害に強いまちの形成
-------	----	-----	------------

平成28年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)

1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)
<p>【①浸水対策の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆小河川・排水路の改修は、溢水箇所、老朽箇所を中心に毎年一定量の改修を行っています。 ◆二級河川片貝川、布施川、鴨川の改修工事、及び経田海岸の護岸改修工事の事業促進について富山県へ要望しました。 ◆雨水幹線整備率の平成28年度実績値は、ほぼ目標値を達成しました。 ◆近年の異常気象に伴う河川の氾濫により、毎年多くの被害が発生しており、平成26年7月19～20日には、これまでに経験したことのない豪雨により甚大な被害が発生して、自然災害に対する市民の関心は非常に高くなっています。 <p>【②山地崩壊対策等の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆山地崩壊対策等は、1箇所(東蔵地区)が完了しました。今後も、計画的に対策を行う必要があります。 ◆砂防改良、地すべり対策、急傾斜地崩壊対策事業の事業促進について富山県へ要望しました。 ◆近年の異常気象に伴う土砂災害により、毎年多くの被害が発生しており、平成26年7月19～20日には、これまでに経験したことのない豪雨により甚大な被害が発生して、自然災害に対する市民の関心は非常に高くなっています。 <p>【③耐震化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆橋梁の調査・点検を計画的に進めており目標値を達成しています。 ◆水道管路の更新率については、1.1%と、1.0%を超えましたが、水道管耐震化率は目標を達成できませんでした。 ◆基幹管路(導水管、送水管、配水本管)の耐震化率(H27年度末)は、2.5%で県内10市の中では、最下位でした。
2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (平成28年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)
<p>【①浸水対策の強化】</p> <p><河川維持事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市街地の溢水箇所や老朽化解消のため、16箇所の排水路改修を行いました。また、排水路や側溝8箇所の堆積した土砂等を浚渫し、溢水防止を行いました。 <p><雨水幹線築造工事></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆こうなぎ川1号雨水幹線の整備により、経田地区内下流域の浸水対策を進めました。被害の発生が解消されました。また、村木排水区を雨水排水整備区域に加え、村木排水区雨水幹線整備の実施・詳細設計を行い、雨水幹線の事業推進に努めました。 <p>【②山地崩壊対策等の強化】</p> <p><県単独治山事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆虎谷、坪野、小川寺地内で治山工事を行いました。また、平成27年度の繰越しによる鹿熊地内の治山工事が完了しました。 <p><農林業施設災害復旧事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成27年7月豪雨により被災した林道2箇所(別又嘉例沢線、坪野虎谷線)、農地2箇所(坪野、金山谷)、農業用水路1箇所(升方)の復旧工事は完了しました。 ◆平成28年7月豪雨(2回)により被災した農地1箇所(鹿熊)、農道1箇所(小菅沼)の復旧工事が完了しました。また、その他の農地6箇所(升方2、鹿熊2、下樁2)、農業用水路1箇所(升方)、農道1箇所(鹿熊)については、国の災害査定を受け、復旧工事の発注手続きを進めました。 <p><土木災害復旧事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成27年12月豪雨により被災した市道の復旧工事は全て完成しました。 <p><急傾斜地崩壊対策事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆富山県に対して、砂防改良、地すべり対策及び急傾斜地崩壊対策の事業促進について要望しました。 ◆土砂災害危険箇所の指定を1か所行いました。 <p>【③耐震化の推進】</p> <p><橋梁改修事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆3橋の改修事業と3橋の実施設計を行いました。 <p><木造住宅耐震改修支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆個人の木造住宅耐震改修について、1件の補助金支援を行い、耐震化を図りました。 <p><増補改良事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆上水道は、老朽管の更新、拡張事業に併せ耐震化を図りました。
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)
<p>【①浸水対策の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市街地の排水路については、溢水箇所を重点的に整備を進めます。また、平成27年度に策定した緊急浸水対策計画に基づき、河川管理者等へ浸水対策の促進を働きかけます。 ◆こうなぎ川1号雨水幹線は、平成29年度も継続して整備を進めます。また、平成27年度に実施した村木排水区の実施・詳細設計に基づき、平成29年度から上村不雨水調整池の整備を進めます。 <p>【②山地崩壊対策等の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ソフト面では防災関係機関による危険箇所パトロールを実施するとともに、土砂災害ハザードマップの更新を行います。また、県に対して、山地崩壊対策に関する事業の促進を働きかけます。ハード面では1箇所の急傾斜地崩壊対策事業及び1箇所の災害防除事業を進めます。 ◆平成27発生した農林災害復旧工事は完了しましたが、平成28年7月の豪雨により被害が発生し復旧工事が完了しなかった農地6箇所(升方2、鹿熊2、下樁2)、農業用水路1箇所(升方)、農道1箇所(鹿熊)については、平成29年度で完了、被害箇所の復旧を進めます。 <p>【③耐震化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成24年度に策定した市道橋の長寿命化修繕計画に基づき、順次長寿命化、耐震化を進めます。 ◆個人の木造住宅耐震改修について、取り組みが進まない課題の整理を進めます。

<p>部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆「災害に強いまちづくり」は、重要と認識されていることから、継続して取り組むこと。 ◆小河川、排水路の適切な維持管理を行うとともに、雨水排水区の対策工事を計画的に実施すること。 ◆土砂災害対策工事を計画的に行うとともに、合わせてソフト対策を実施すること。 ◆木造住宅耐震改修支援事業の課題把握に努めること。 ◆橋梁や上水道基幹管路の長寿命化、耐震化を進めること。
<p>施策の方針 (今後の事務の取組みの参考)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆溢水浸水被害を軽減させるため、村木、経田地区の雨水幹線整備を行うとともに、小河川等の適切な維持管理を行います。 ◆土砂災害被害を未然に防止するため、砂防、治山事業を推進するとともに、小規模急傾斜地崩壊対策事業(六郎丸地区)の整備を進めます。 ◆橋梁や水道管路の長寿命化、耐震化を進めます。